※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校新地理総合」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2026」（帝国書院） 「高等学校新地理総合ノート」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理の対象は地表に暮らす人間そのものである。世界中に存在する多様な人間社会のありようを学び、考えよう。
・しかしながら、地図の理解は大前提。地図帳を手に世界の姿をしっかりと把握しよう。
・前期の学習は地理の基礎学習で、われわれが住む地球環境についてしっかりと学ぶ。
・後期の学習は世界に広がる人々のありようから現代社会の課題をテーマ的に学んでいく。人種、民族の「ちがい」とは。環境、資源、エネルギー問題から「持続可能な社会」の意味をつかんでほしい。国際社会が抱える現実の課題を学びの中で意識しよう。
・また大学進学など進路に結びつけるなら、獲得した知識、理解の定着化は当然の課題だ。

2　学習の到達目標

・国際社会に主体的に生きる人間としての自覚を培うため、地理的な教養や認識をもとに国際社会への理解を深め、国際感覚にあふれた現代人としての思考や「ものを見る力」を育成する。
・第１学年ではまず、地理学習の基礎となる世界観を構築し、世界の現状を見つめる力を養う。
・さらに異文化理解や国際社会の動向の理解を深めるため、人種民族問題や環境エネルギー問題など「持続可能な社会」のありようについて考察を積み上げ、国際人としての自覚と資質を養っていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図	私たちが暮らす世界 地図や地理情報システムの役割	a:世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の領域・領土についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 b:地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	**討論・発表**	提出ノート
	地理情報システム	資料から読み取る現代世界	a:地図についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:さまざまな地図について，縮尺・媒体・用途などに着目し，適切に整理している。さまざまな統計数値を，適切な主題図で表現している。GIS を操作し，計測結果や主題図を表示している。 c:紙の地図やGISに対する関心を高め，閲覧や作業を通して，それらの特徴をとらえようとしている。	定期テスト	**討論・発表**	**レポート課題**
	生活文化	生活文化の多様性と国際理解	a:世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過	定期テスト	定期テスト(論述問題など)	**学習の振り返り** 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

			程や結果を適切に表現している。 c:文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。			
	地形	世界の大地形 世界の小地形	a:さまざまな地形とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト（論述問題など）	**レポート課題等** **学習の振り返り**
二学期	気候	生活文化と自然環境 (気候)	a:さまざまな気候とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:世界各地で多様な気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト（論述問題など）	**レポート課題等** **学習の振り返り**
	産業	生活文化と産業	a:さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，	定期テスト	定期テスト（論述問題など）	**レポート課題等** **学習の振り返り**

※令和４年度以降入学生用

			その過程や結果を適切に表現している。 c:さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。			
	地球的課題	環境問題 資源･エネルギー問題 人口問題 食料問題 居住･都市問題 民族問題	a:さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 b:地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト（論述問題など） 討論･発表	討論･発表
三学期	自然環境と防災	さまざまな自然災害と防災	a:多発している日本列島の自然災害とその克服について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト（論述問題など）	**レポート課題等** **学習の振り返り**
	生活圏の調査	生活圏の調査と地域の展望	a:地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:身近な地域の特徴を，設定し	定期テスト	定期テスト（論述問題など）	**レポート課題等** **学習の**

※令和４年度以降入学生用

			たテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。 c:身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。			**振り返り**

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度